令和4年度事業報告書

救護施設

やしおみ荘

実施事業名			実施月	実施状況 参加人数	実施状況 実施回数	主な実施内容
第1. 行事に関する事業			令和4年 4月 ～ 3月	51人		4月　22日　花見
				対象:全員		7月　13日(男性)　14日(女性) 荘内マルト買い物
				70人		10月　21日 市民総ぐるみ運動
				対象:全員		11月　16日 秋まつり 23日 日帰り旅行(近距離)代替え 24日 一泊旅行代替え
				39人		
				22名		
				15人		12月　13日 日帰り旅行(遠距離)代替え 21日　クリスマス会 26日　一泊旅行代替え(おやつ提供) 27日　忘年会 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い行事を自粛した。代替え可能な行事は、代替えを実施することで楽しみの機会を提供出来る様にした。
				対象:全員		
				21人		
				対象:全員		
				対象:全員		2月　1日　新年会 7日(男性)8日(女性) 荘内マルト買い物
第2 生活支援に関する事業	利用者・職員との懇談会		4月～3月 隔月	利用者代表 1回平均　10人	5回	利用者様から要望・苦情をあげてもらう事で、利用者様に対する職員の対応、利用者間のトラブルの解決に向けて検討し、生活環境の改善を図るのに役立てる事が出来ていた。
	作業活動支援	農作業・園芸	4月～3月	農作業 1日平均 5.9人	(稼動) 1日平均1.1時間	畑の整備や季節に応じた作付けを行った。いんげん豆や30日大根等収穫した作物を食事に提供してもらったり、作物を育てる喜びが作業意欲に繋がった。 ・作物:いんげん豆 30日大根 ジャガイモ キャベツ 人参 里芋 ピーマン ラディッシュ かぼちゃ ネギ さつま芋 白菜 サニーレタス 小松菜 ・畑の整備　種まき　苗植え　草刈り　畑おこし　収穫 ※定期的に柵の補強
				園芸 1日平均 9人	1日平均　1.3時間	花壇を利用したイチゴ、なす、キュウリ栽培、ひまわり、芝桜、チューリップ等を育てた。 ＊花壇整備　花の苗植え　草刈り等実施 中庭の整備、苗植え、肥料やり、除草等、花や野菜を育てる過程は結構あったが、職員から手入れすることの大切さを教えられる事で除草を苦にすることなく行う事が出来ていた。手入れをしたことで色とりどりの花が咲き、職員から「きれいですね」と言われることが作業継続意欲に繋がっていた。

実施事業名			実施月	実施状況		主な実施内容
				参加人数	実施回数	
	作業活動支援	タオル		1日平均 人	(稼動) 月平均日 1日平均 時間	＊宿泊施設のタオル (バスタオル、フェイスタオル) ・新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。利用者の活動は、カラオケ、体操など余暇活動の充実に努めた。
	作業活動支援	エステー		1日平均人	(稼動) 月平均日 1日平均 時間	トイレの芳香剤原玉をネットに入れる、ラベルを付ける、箱に詰める、最終の目視検査が作業工程 ・新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。利用者の活動は、カラオケ、体操など余暇活動の充実に努めた。
	作業活動支援	就労	月	ウインド・ファーム	就業日 日	ウインドファーム ＊ バラシ、ヘタ取り、植え付け、皮むきの工程 ・新型コロナウイルス感染症対策の一環として実施せず。
	ボランティア受入	馬上理容所	4月～3月	1回当たり平均 8.6名	年12回	男性散髪　(自力歩行ができ排泄や体調面、行動面に問題がない利用者) ※新型コロナウイルス感染症の規模拡大を受け9月と12月は途中からではあるが中止とした。 男性散髪　(歩行や体調面に配慮が必要な利用者) ※来荘してもらう事で、移動困難な方の整髪も出来て衛生面が良好に保つ事が出来た。 女性カット 女性カット　毛染め ビギンでは、来荘での散髪と店舗にて散髪・髪染めを実施した。
	ボランティア受入	出張カット　ハピネス		1回当たり平均 10.5名		
	ボランティア受入	久野美容室		1回当たり平均 16名	年4回	
	ボランティア受入	髪結い処ビギン		1回当たり平均 18名		
	ボランティア受入	お花 フローラルハート まどか	なし		年0回	・新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。

実施事業名			実施月	実施状況 参加人数	実施状況 実施回数	主な実施内容
生活支援に関する事業	日常生活動作（ＡＤＬ）支援	排　泄	4月～3月	支援対象者 男性平均　12名 女性平均　17名 ※1	月平均 21.6 回 ※1	ペーパーの適切な取り方(量)　　便器のまわりを汚さぬように排泄 ふき方　水を流す　手洗い ・車椅子の方には、身障トイレにて介助実施。高齢の方には身障トイレ内のポータブルトイレを使用しての介助を実施した。
		洗　顔		支援対象者 男性平均　15名 女性平均　13名 ※1	月平均 21.6 回 ※1	洗面器に水を汲む　顔全体を水で濡らす　石鹸を適量つけて洗う 顔をすすぐ　タオルで顔を拭く　鏡を見て確認 ・見守りと一部介助を要する支援が主だった。
		歯みがき		支援対象者 男性平均　15名 女性平均　15名 ※1	月平均 21.6 回 ※1	参加の声掛け 歯を磨く(前・奥・右・左・裏)　口をすすぐ　歯ブラシを洗う 口の回りを拭く　コップを洗い拭く ・磨き方支援を要した。
		ブラッシング		支援対象者 丸刈り以外 ※1	月平均 回 ※1	ブラシの当て方　髪をととのえる　確認 ・主に女性が実施。
		ひげ剃り		支援対象者 男性平均　15名 ※1	月平均 21.6回 ※1	ひげを剃る(左・右・鼻の下・顎)　鏡を見て剃り残しの確認 髭剃り機の掃除 ・自分で行った後、そり残しを職員が支援。
		入　浴		支援対象者 男性平均　15名 女性平均　18名 ※1	月平均 8 回 8 回 ※1	洗髪　髪をすすぐ(拭く)　洗顔　体を順序よく洗う 泡を流す　適切な入浴時間(湯舟)　上がり湯をかける 体を拭く　衣類の着脱(整頓)　汚れ物を洗濯に出す
		食　事		支援対象者 男性平均　3名 女性平均　1名 ※1	月平均 21.6 回 ※1	主副食バランスよく食べる　かきこまずによく噛んで食べる 適切な時間　偏食をしない 新型コロナウイルス感染症対策として、体制を2部制の形で実施。
		利用者様の年齢、能力・障害に応じて支援をする事に心がけた。				※1・・・全介助者含む

実施事業名			実施月	実施状況		主な実施内容
				参加人数	実施回数	
生活支援に関する事業	機能維持活動	理学療法 (P・T)	なし	療法対象者 0 人	月平均 0回	新型コロナウイルスの影響から中止とした。
		言語療法 (S・T)		療法対象者 0人	月平均 0回	新型コロナウイルスの影響から中止とした。
	地域との交流	ボランティア 来荘	4月～3月	行　事　　0人 ・秋まつりは実施したが、新型コロナウイルスの影響から、行事ボランティアの来荘はなかった。 施設内外環境整備　　新型コロナウイルスの影響から、ボランティアの来荘はなかった。		
		公共施設の清掃	4月～3月	対象 利用者全員	年0回	市民総ぐるみ運動(6月・10月)　※新型コロナウイルスの影響から6月は中止としたが、10月は施設敷地内のゴミ集めや草むしりを実施した
		地域活動への参加	4月～3月	対象 自立者のみ	月に15日程度	遠野在住のO氏所有の果樹園の除草作業へ参加している。
				出展のみ	年1回	障害者の日記念行事(12月)
		地域への外出等	4月～9月	年0人	年0回	・年間を通して、個人外出が可能な利用者には施設長の許可のもと、遠野町内のみの外出を認めていた。基本は蔓延防止期間中の外出は禁止としていた。 職員付き添い外出は、新型コロナウイルス感染症対策の一環として中止した。
		施設の社会活動	4月～3月	対象 利用者全員	年0回	上遠野小学校との交流 やしおみ荘へ行こうの開催 遠野高校生との交流　※新型コロナウイルス感染症対策の一環として、いずれの活動も中止とした。
		環境整備 (施設内・外)	4月～3月	対象 利用者全員	適宜	窓ふき・換気扇・エアコンフィルター掃除　・側溝の掃除 年齢、障害に配慮して実施した。 ※新型コロナウイルス感染症対策の一環として、荘内の消毒作業の開始と感染者が出た際の隔離スペース(テント)の設置。

実施事業名		実施月	実施状況 参加人数	実施状況 実施回数	主な実施内容
生活支援に関する支援	残菜嗜好	9月　2月	対象(利用者様) 期間(2週間)	年 2 回	残菜調査(食事毎に残菜状況を調べ傾向を調査) 嗜好調査(食べた食事について、味付け・好き・嫌いをアンケートで回答、傾向を調査) 嗜好を把握することで、メニューに活かす事が出来た。
	支援計画・モニタリング	支援計画 3月 モニタリング 9月　3月 (達成度により適宜)	全員対象	年 1 回 年 2 回	モニタリングを基に、利用者様の意見を聴きとりし個別支援計画を策定した。 個別支援画を基に支援した結果を評価し、個別支援計画に反映させた。
	所持品	適宜		適宜	不用品の整理、季節ごとの衣類の出し入れ、収納の確認

第3. 研修に関する事業	施設内	なし
	施設外	新型コロナウイルス感染症の影響により、 オンライン研究で実施。(やしおみ荘会議室) 東北地区救護施設研究協議会大会　8月30日 防火管理講習　7月21日～22日 完全運転管理者研修　9月13日 全国救護施設研究協議大会　9月29日～30日 社会福祉施設栄養士研修　11月30日 新規採用職員研修会　11月28日 救護施設福祉サービス研修　2月13日 いわき集団栄養給食研究会　2月24日 新規採用職員研修会　11月28日 東北地区救護施設協議会研修会　3月2日 東北地区救護施設ケース記録研究会　1月13日 東北地区救護施設ケース記録研究会　2月17日 障害者虐待防止研修(ビデオ) サービス管理責任者等実践研修　11月21日～22日 ・他の研修は、コロナウイルス感染症影響により、 中止となった。

		毎月	年
第4. 会議および監査に関する事業	会議の種類	経営者会議 給食・厨房会議 職員会議 スーパー会議 給食会議 リスクマネジメント検討委員会 施設内権利擁護委員会会議	内部監査 支援方針決定会議 権利擁護委員会第三者委員との懇談会 法人権利擁護委員会会議 次年度事業策定会議 個別支援策定会議

<table>
<tr><th rowspan="2">実 施 事 業 名</th><th rowspan="2">実 施 月</th><th colspan="2">実 施 状 況</th><th rowspan="2">主 な 実 施 内 容</th></tr>
<tr><th>参加人数</th><th>実施回数</th></tr>
<tr><td>第5. 防災・保安に
関する事業</td><td rowspan="2">4月～3月</td><td colspan="2">避難訓練　（夜間想定・職員2名）
全員対象　月 1 回
（講話含む）</td><td>総合防災訓練　：年 1 回　・消防用設備自主点検　：月 1 回
消防用設備点検　：年 2 回　・ボイラー設備の点検　：年 3 回
訓練、点検を定期的に実施し防災に努めた。特に総合防災訓練では、心肺蘇生の訓練を実施した。</td></tr>
<tr><td>第6. 保健衛生に
関する事業</td><td colspan="2">嘱託医来診　：年 24 回
精神科医来診　：年 13 回
血圧体重測定　：毎月実施
バイタルチェック　：入浴前毎日実施
朝等適宜実施
検便　：年1回</td><td>5月 ：（第1回目のコロナワクチン接種実施）
7月～3月 ：健康診断（職員）
7月 ：検尿　（利用者）
8月 ：健康診断（利用者）
10月 ：内科検診(利用者)
12月 ：検便　（利用者）
2月・3月 ：胃がん検診
※定期的に受診、バイタル測定をすることで、健康状態の変化を把握することができた。</td></tr>
</table>

1セーフティネット機能

・緊急一時保護対応：女性1名、男性1名の2名が利用し、入所、出身地戻りとなった。コロナ禍もあり、利用の問い合わせが少なかった。

2中間施設としての役割：コロナウイルス感染症により、関係機関等からの利用受け入れ相談と、入所利用者様の高齢者施設移行については自粛した。

〈取り組むべき重点課題〉

1サービスの質の向上の取り組み

〇権利擁護、リスクマネジメント委員会を活用し、QOLの向上に努めるについて

権利擁護委員会、リスクマネジメント委員会を中心として、利用者の困りごとや要望、リスク等に対して解決を図ってきた。第三者評価を受審した。

〇障害者虐待防止法について

毎月接遇に対するアンケートを実施し、各職員が利用者様へ言葉使いを含めての対応についての振り返りを実施。

2 地域福祉サービスの取り組み

(1)居宅生活訓練事業について

女性60歳代、40歳代で2名で実施した。40代女性が5月に単身生活となる予定。

(2)余暇活動と地域への参加(QOL)について

・コロナウイルス感染症の影響により、地域の方との交流がなく、施設内外で余暇の充実を図ることが出来なかった。

(3)関係機関との連携強化

コロナウイルス感染症の影響はあったが、出来るだけ連絡等は密にしていた。

3 高齢者重度化と施設の老朽化への対応

・施設への移行については、コロナウイルス感染症の影響もあり自粛していたが、関係者と連絡を取るように努めた。

・利用者様に快適に過ごして頂くために建物内外の修繕等を実施する事で、より良い環境の提供に努めた。